

ECHOロボット芝刈機資料

2026年3月6日
OPE事業本部

ロボットが芝生管理を革新する。

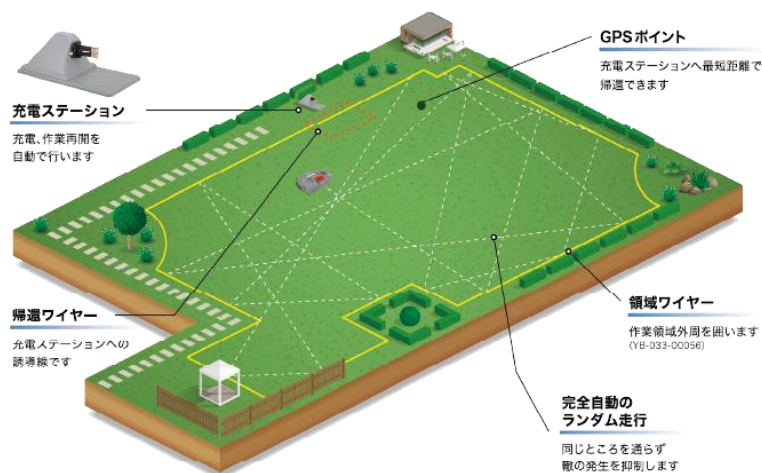
ランダム走行からパターン走行へ RTKモデル登場。

領域ワイヤーで区切られた範囲をランダムに走行する従来の方式から進化を遂げ、衛星を用いたナビゲーションシステムによるパターンでの走行を行います。

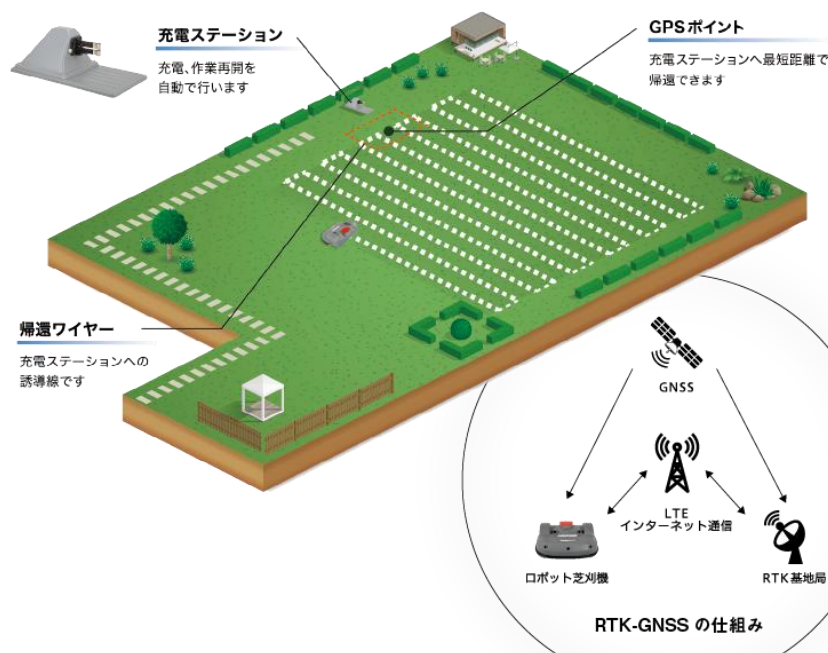
最新のナビゲーションシステムであるRTK-GNSSは、4種類の衛星から位置情報を取得し、誤差数センチレベルのナビゲートが可能となり、ロスの少ない直進的なパターンでの走行を実現します。

ワイヤーを埋設する必要がなく、外部環境からの影響を受けにくいエリア設定が可能です。

スタンダードモデル



RTKモデル



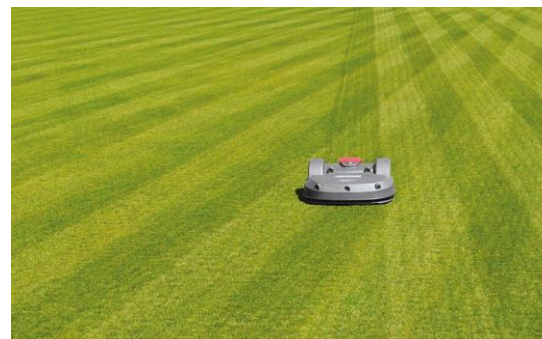
作業面積が従来の約3倍に

パターン走行による効率的な作業により従来のランダム走行に比べ1日あたりロボット芝刈機では**約3倍**、ロボット集球機では約1.5倍の面積を作業できます。



より綺麗な仕上がりを実現

直進的な刈り込みにより綺麗な仕上がりを実現します。また、走行中に充電が減り、充電ステーションに自動で帰還、充電完了後、帰還前にいた場所から作業を再開するため、刈り残しも心配ありません。



外部環境からの影響を受けにくい

ワイヤーを埋設する必要がないため、外部環境からの影響を受けにくい作業エリアの設定が可能となり、より精度の高い刈り込みを行います。



RTK モデル ラインナップ



ロボット芝刈機 | **TM-2050**



ロボット芝刈機 | **TM-1050**



ロボット集球機 | **RP-1250**



ロボット芝刈機 TM-1050

イパフォーマンスタな大型ロボット芝刈機

- 【最大作業面積】 45,000m²
- 【刈幅】 633mm
- 【刈高】 20~100mm (17段階)
- 【ブレード】 合計9枚
- 【最大登板傾斜】 17度



TM-1050

最新のナビゲーションシステムであるRTK-GNSSを搭載したRTKモデル

- ・昼夜を問わず24時間作業
- ・連続的な刈り込みで美しい芝を実現
- ・先進のガイダンスと各種の安全装置を完備
- ・自動でステーションに移動して自己充電
- ・あなたの作業管理に合わせて運用可能

寸法(長さ×幅×高さ)(mm) : 1,044×1,002×466

本体乾燥質量(kg) : 48(※1)

刈幅(mm) : 633

刈高(mm) : 20-100 (17段階調整)

カッティングヘッド(連) : 3

ブレード(枚) : 合計9(2インチブレード3、1ヘッド)

最大作業面積(?) : 45,000(※2)

バッテリー容量(Ah) : 19.2

年間消費電力の目安(kWh) : 580(※3)

走行速度(k/h) : 2.8

最大登板斜度(度) : 19

騒音値(5m地点)(dB) : 52

希望小売価格(税込) : ¥3,260,400

※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。

※2 作業面積は、地形やグラウンド状態、障害物の存在によって異なります。

※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。

※ 稼働には充電ステーション(STATIONV2.0-JP)を設定するためのワイヤー埋設工事が必要です。

ロボット芝刈機 TM-2050

イパフォーマンスタな大型ロボット芝刈機

- 【最大作業面積】 75,000m²
- 【刈幅】 1,033mm
- 【刈高】 20~100mm (17段階)
- 【ブレード】 合計15枚
- 【最大登板傾斜】 17度



TM-2050

最新のナビゲーションシステムであるRTK-GNSSを搭載したRTKモデル

- ・昼夜を問わず24時間作業
- ・連続的な刈り込みで美しい芝を実現
- ・先進のガイダンスと各種の安全装置を完備
- ・自動でステーションに移動して自己充電
- ・あなたの作業管理に合わせて運用可能

寸法(長さ×幅×高さ) (mm) : 1,110×1,278×515

本体乾燥質量(kg) : 71(※1)

刈幅(mm) : 1,033

刈高(mm) : 20-100 (17段階調整)

カッティングヘッド(連) : 5

ブレード(枚) : 合計15(2インチブレード3、1ヘッド)

最大作業面積(?) : 75,000(※2)

バッテリー容量(Ah) : 19.2

年間消費電力の目安(kWh) : 830(※3)

走行速度(k/h) : 3.6

最大登板斜度(度) : 17

騒音値(5m地点)(dB) : 52以下

希望小売価格(税込) : ￥4,481,400



※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。 ※2 作業面積は、地形やグラウンド状態、障害物の存在によって異なります。 ※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。 ※ 稼働には充電ステーション(STATIONV2.0-JP)を設定するためのワイヤー埋設工事が必要です。

ロボット芝刈機 TM-1000

イパフォーマンスタナ大型ロボット芝刈機

- 【最大作業面積】 12,000m²
- 【刈幅】 633mm
- 【刈高】 20~100mm (17段階)
- 【ブレード】 合計9枚
- 【最大登板傾斜】 19度



TM-1000

- 昼夜を問わず24時間作業
- 連続的な刈り込みで美しい芝を実現
- 先進のガイダンスと各種の安全装置を完備
- 自動でステーションに移動して自己充電
- あなたの作業管理に合わせて運用可能

寸法(長さ×幅×高さ) (mm) : 1,044×1,002×466

本体乾燥質量(kg) : 48(※1)

刈幅(mm) : 633

刈高(mm) : 20-100 (17段階調整)

カッティングヘッド(連) : 3

ブレード(枚) : 合計9(2インチブレード3、1ヘッド)

最大作業面積(?) : 12,000(※2)

バッテリー容量(Ah) : 19.2

年間消費電力の目安(kWh) : 580(※3)

走行速度(k/h) : 2.8

最大登板斜度(度) : 19

騒音値(5m地点)(dB) : 52

希望小売価格(税込) : ¥1,749,000

※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。

※2 作業面積は、地形やグラウンド状態、障害物の存在によって異なります。

※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。

※ 稼働には充電ステーション(STATIONV2.0-JP)の設置と作業領域を設定するためのワイヤー埋設工事が必要です。

ロボット芝刈機 TM-2000

イパフォーマンスタな大型ロボット芝刈機

- 【最大作業面積】 24,000m²
- 【刈幅】 1,033mm
- 【刈高】 20~100mm (17段階)
- 【ブレード】 合計15枚
- 【最大登板傾斜】 17度



TM-2000

- ・昼夜を問わず24時間作業
- ・連続的な刈り込みで美しい芝を実現
- ・先進のガイダンスと各種の安全装置を完備
- ・自動でステーションに移動して自己充電
- ・あなたの作業管理に合わせて運用可能

寸法(長さ×幅×高さ)(mm) : 1,110×1,278×515

本体乾燥質量(kg) : 71 (※1)

刈幅(mm) : 1,033

刈高(mm) : 20-100 (17段階調整)

カッティングヘッド(連) : 5

ブレード(枚) : 合計15 (2インチブレード3、1ヘッド)

最大作業面積(?) : 24,000 (※2)

バッテリー容量(Ah) : 19.2

年間消費電力の目安(kWh) : 830(※3)

走行速度(k/h) : 3.6

最大登板斜度(度) : 17

騒音値(5m地点)(dB) : 52以下

希望小売価格(税込) : ￥2,970,000

※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。 ※2 作業面積は、地形やグランド状態、障害物の存在によって異なります。 ※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。
※ 稼働には充電ステーション(STATIONV2.0-JP)の設置と作業領域を設定するためのワイヤー埋設工事が必要です。

待望の、自走式ロボット芝刈機ついに登場。

広大な面積の芝を常に美しく保つことは非常に手間とコストのかかること。無人管理で昼夜問わずフルタイムでの稼働が可能なTM-2000は、常に刈り続けることで芝を伸ばさず、刈り揃った状態を維持します。より簡単に美しい芝生を、「Perfect Lawn = 理想の芝管理」ECHO ROBOTICSが新しい芝管理を提案します。



待望の、自走式ロボット芝刈機ついに登場。

TM-2000
ECHO ROBOTICS

最大管理面積 ≡ **24,000 m²**
24 時間**全自動運転**
連続的な刈込で「芝を伸ばさない」

自走式ロボット芝刈機とは

外周にワイヤーを埋設することで設定した領域内を、ロボットがランダム走行し、自動で芝刈りを行います。バッテリーが少なくなると自動で充電ステーションに戻り、充電後再び作業を開始します。エコーロボティクス
の最大作業面積は24,000㎡(※)と広大で、公園、ゴルフ練習場、グラウンドなど多くの場所で活躍します。

※作業面積は、地形やグラウンド状態、障害物の存在によって異なります。



TM-2000は、連続的な刈り込みにより、常に美しい芝生を保つと共に、芝の生育にも良い影響を与えます。芝目が伸びてから刈る従来の刈り方とは異なり、TM-2000は毎日のように刈り込むため、芝目を伸ばさず、芝生のコンディションを高く維持することが可能です。手間がかからずに芝生の管理ができる、まさに理想の芝管理です。

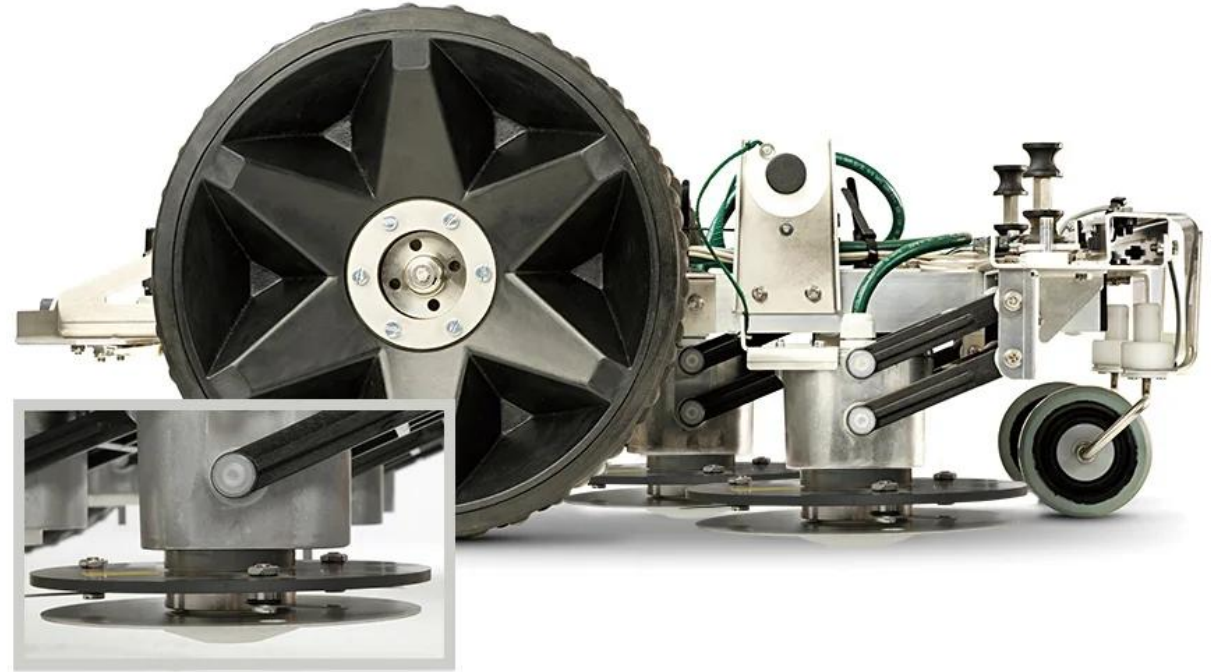


パソコンでエコーロボティクスが提供する専用サイトにログインし、利用することができる機能は、刈る、充電する等を遠隔でコントロール、エラー報告の受信、位置情報・バッテリー残量の確認、作業スケジュールの組み立て、作業履歴・走行履歴の確認等様々です。



カッティングヘッド

カッター部にはフローティングディスクを採用。高いアンジュレーション追従性を実現します。ナイフは極薄のブレードを採用、鋭い切れ味で刈り込んだ芝生を痛めません。



前面についている5つのソナーで障害物を超音波で感知します。障害物に近づくと、接近ソナーにより、TM-2000は走行速度を遅くし、接触すると少し後退し、方向転換します。また、本機が持ち上げられた時は、直ちにナイフの回転を停止させます。



コントロールパネル

非常停止ボタン部をあけると、そこにはキーパッドが配置されています。キーパッドではロボットの運転時間の設定や各種セッティングを行えると共に、稼働時間や走行距離、エラーメッセージなどの情報を確認できます。



バッテリー駆動

ロボットは内蔵のリチウムイオンバッテリーで駆動します。バッテリーの充電が必要になると自動で充電ステーションに帰還し充電を開始します。そして、充電が完了すると再び作業を開始します。バッテリー駆動のため、運転のための燃料の必要がないと共に、運転中の騒音や排気ガスの心配ありません。



ゴルフボール集球ロボット RP-1200

ゴルフ練習場での芝管理において、芝刈りと集球は切り離せない関係にあります。RP-1200はエコーロボティクス of 作業原理で予め定められた区域の集球と排球を自動で行います。静かな作業音で昼夜を問わず稼働可能なため経営コストにも貢献します。



TM-2000の同時運転

エコーロボティクスは、ワイヤーを埋設した領内で複数台を動かすことが可能です。これは、TM-2000とRP-1200の異なる2台を同時運転できることを意味します。本来、芝刈り作業は練習場のボールを全て拾わなければできませんが、TM-2000のカッティングヘッドに保護ディスク(オプション)を取り付けることにより、ボールを傷めることなく、いつでも作業が行えます。



ゴルフボール集球ロボット RP-1200

ゴルフボールの集球を無人管理に！

- 【1日あたり最大集球数】 15,000個
- 【ホッパー容量】 約300（1回あたり）
- 【年間消費電力】 620kWh
- 【走行速度】 3.6K/h
- 【最大登板傾斜】 17度



RP-1200

- 設定した範囲内を自動走行
- 昼夜を問わず24時間作業が可能
- 1日あたり最大15,000球の集球が可能
- 自動でステーションに移動して自己充電
- プレーヤーの集中を妨げない静かな作業音

寸法（長さ×幅×高さ）（mm）：1,176×1,343×542

本体乾燥質量(kg)：85※1

1日あたり最大集球数：15,000※2

ホッパー容量(1回あたり)：約300

バッテリー容量(Ah)：19.2

年間消費電力の目安(kWh)：620※3

走行速度(k/h)：3.6

最大登板斜度(度)：17

騒音値(5m地点)(dB)：52以下

希望小売価格(税込)：¥3,476,000

※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。

※2 集められたボールの量はプレーされたボールの数とグラウンド状態によって異なります。

※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。

ゴルフボールの集球を無人管理に。

ゴルフ練習場での芝管理において、芝刈りと集球は切り離せない関係にあります。RP-1200は、ECHOロボティクスの作動原理で予め定められた区域の集球と排球を自動で行います。静かな作業音で昼夜を問わず稼働を続け、集球コストの削減に貢献します。

ゴルフボールの集球を無人管理に。

ロボット集球機

RP-1200



一日最大15,000球の集球が可能

RP-1200は練習場のボールを拾い続け、本体内のボールタンクには約300球のボールを格納します。ボールタンクが満たされるとドロップピットに移動し、自動で排出します。この作業を繰り返し、一日あたり最大15,000球のボールを集めることができます。※RP-1200の導入には、稼働領域を設定するワイヤーとドロップピットの設置が必要です。



ロボットモアとの同時運転

設定した作業領域内で、ロボットモアとRP-1200を同時運転させることが可能です。本来、草刈り作業は練習場のボールを全て拾わなければできませんが、ロボットモアのカッティングヘッドを保護ディスク(オプション部品)を取り付けることにより、ボールを痛めることなくいつでも作業ができます。 ※同時運転をさせるには、台数に応じた数の充電ステーションが必要です。



集めてきたボールをまとめるドロップピット

RP-1200を運用するためには、ドロップピットの設置が必要です。ドロップピットとは、RP-1200がボールタンクに集めたボールを排出する場所を指し、設置場所ごとに設けられている集球システム(集球溝・ボール洗浄機・カゴに集めるなど)に繋げる役割があります。※ドロップピットはRP-1200導入者の方による準備が必要となります。



ゴルフボール集球ロボット RP-1250

ゴルフボールの集球を無人管理で行うロボット集球機

- 【最大作業面積】 45,000m²
- 【1日あたり最大集球数】 15,000個
- 【ホッパー容量】 約300（1回あたり）
- 【年間消費電力】 620kWh
- 【走行速度】 3.6K/h
- 【最大登板傾斜】 17度



RP-1250

最新のナビゲーションシステムであるRTK-GNSSを搭載したRTKモデル

- 設定した範囲内を自動走行
- 昼夜を問わず24時間作業が可能
- 1日あたり最大15,000球の集球が可能
- 自動でステーションに移動して自己充電
- プレーヤーの集中を妨げない静かな作業音

寸法（長さ×幅×高さ）（mm）： 1,176×1,343×542

本体乾燥質量(kg)： 85※1

1日あたり最大集球数： 15,000※2

ホッパー容量(1回あたり)： 約300

バッテリー容量(Ah)： 19.2

年間消費電力の目安(kWh)： 620※3

走行速度(k/h)： 3.6

最大登板斜度(度)： 17

騒音値(5m地点)(dB)： 52以下

※1 本体乾燥質量は、バッテリーを含みます。

※2 集められたボールの量はプレーされたボールの数とグラウンド状態によって異なります。

※3 与えられた条件や用途によって消費量は異なります。

※設置費用除く

①本体

	m ²	税抜き	税込み
TM-1000	12,000	1,590,000	1,749,000
TM-2000	24,000	2,700,000	2,970,000

②充電ステーション

	税抜き	税込み
STATION2.0-JP	328,000	360,800
STATION2.0-JP	328,000	360,800

③RTKコントロールボックス

	税抜き	税込み
スマートボックス	1,374,000	1,511,400
スマートボックス	1,374,000	1,511,400

④RTK基地局

	税抜き	税込み
RTK基地局セット	398,000	437,800
RTK基地局セット	398,000	437,800

⑤合計

税抜き	税込み
1,918,000	2,109,800
3,028,000	3,330,800

	m ²	税抜き	税込み
RTKモデル TM-1050	45,000	2,964,000	3,260,400
RTKモデル TM-2050	75,000	4,074,000	4,481,400

	税抜き	税込み
STATION2.0-JP	328,000	360,800
STATION2.0-JP	328,000	360,800

サッカー場	(プロ)	7,140
	(一般)	4,000 ~
		10,800

